

大草山から浜名湖を望むジップライン構想（イメージ）

一般質問 参考資料



浜名湖の景観、山、水辺を生かした体験型観光の提案

※本画像は構想を視覚化したイメージであり、具体的な整備場所、ルート、事業化を示すものではありません。

出典：中野和幸がAIで作成

学校プールの水面を活用した太陽光発電



設置イメージ（AI生成）／ 実在の施設・導入事例ではありません

導入には安全性・維持管理・防災用水との両立などの検証が必要です

出典：中野和幸がAIで作成

あなたの声、私の思い
みんなで語ろう

認知症のこれから。

「忘れてしまった」「年齢を重ねていくと、誰もが感じたことのある不安。認知症は、誰にでも起こりうる身近な病気です。今、浜松市ではおよそ2万6千人が認知症と向き合い、家族や地域でサポートしています。この特集では認知症のこととして本人や家族の向き合い方を一緒に考えます。」

「新しい認知症観を知っていますか？」

2024(令和6)年1月1日に施行された共生社会の実現を推進するための認知症基本法に基づき、同年12月に認知症施策推進基本計画が示されました。そこで新たに示された認知症の考え方が「新しい認知症観」です。
新しい認知症観とは、認知症になった人何となくなるのではなく、一人一人が個人としてできること、やり

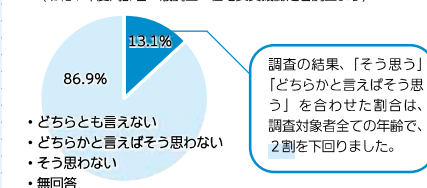
4ページで
詳しい様子を掲載

今年度は11月7日、
1月30日に開催します!

TOPIC

みんなの認知症へのイメージは？

Q. あなたは今の社会で認知症の人が自分らしく暮らしていると思いますか
(令和7年度高齢者一般調査・在宅要支援認定者調査より)



認知症とは



聖隷三方原病院 浜松市認知症疾患医療センター長
磯貝 聡 さん

認知症とは脳の機能が低下することによって自立した生活が困難になった状態を言います。
その原因として最も有名で、かつ多いのがアルツハイマー病です。アルツハイマー病は脳にアミロイドβという物質がたまることをきっかけとして、脳の機能が徐々に低下する病気です。最初は無症状ですが、徐々に進行して軽度認知障害の段階を経て、アルツハイマー病

による認知症すなわちアルツハイマー型認知症の状態になります。このほかにもレビー小体型認知症、前頭側頭型認知症などがあります。一番多い症状は記憶障害いわゆる「もの忘れ」ですが、日付の感覚が低下したり、活動的でなくなるなどの症状もよくみられます。
認知症の状態になっても、一気にすべてのことが出来なくなるわけではありません。初期ではもの忘れはあるけれども、それ以外の多くのことは今まで通りできている人が大半です。認知症だから何もできないという決めつけは禁物です。苦手になったことを自分自身で工夫したり、家族を含め周りの人たちに手伝ってもらいながら少しでも長くこれまでの生活が続けられるようにしていきましょう。

TOPIC

「もの忘れ」と「記憶障害」の違い

- 加齢による「もの忘れ」
 - ・経験したことが部分的に思い出せない
 - ・目の前の人の名前が思い出せない
 - ・何を食べたか思い出せない
- 認知症による「記憶障害」
 - ・経験したことを全体に忘れている
 - ・目の前の人が誰か思い出せない
 - ・食べたことと自分を忘れている



05 認知症家族介護者教室

「家族が認知症になった」「家族のものの忘れが気になる」など、認知症に関連する悩みや心配事のある家族に向けた教室を、浜松市認知症疾患医療センターが開催しています。申込など詳しくは26ページをご覧ください。



06 相談窓口

認知症は、早期発見、早期受診・診断がカギです。さまざまな相談窓口の情報をオレンジガイドブックに掲載しています。オレンジガイドブックは、高齢者福祉課や区役所、行政センター、地域包括支援センターなどで配布しています。



詳細はオレンジ
ガイドブックをチェック!

03 認知症カフェ（オレンジカフェ）

認知症の人やその家族、地域住民などの誰もが気軽に集い、認知症に関する情報交換や相互交流などができる場です。市内には25のカフェが設置されており、主催者によって活動もさまざまです。詳しくは市HPをご覧ください。



04 オレンジシール・メール

認知症の症状によりひとり歩き(行方不明)の心配がある人を事前登録(オレンジシール交付)し、行方不明となった場合にオレンジメールを配信します。オレンジシールの交付は、地域包括支援センターで行っています。



浜松市の認知症に関する取り組みや、事業の開催日程を市HPで公開しています。上記の6つの事業についても、紹介しています。

01 認知症本人ミーティング

認知症の人が日々の暮らしの楽しいこと、困りごとを自由に話し合い、よりよい暮らしや地域のあり方を一緒に考える場です。今後の生活を考える手掛かりになります。参加には事前申込が必要です。詳しくは高齢者福祉課まで。

02 認知症サポーター養成講座

認知症サポーターは、講座で正しい知識と接し方を学んだ応援者です。サポーターを増やし、認知症の人とその家族が安心して暮らせるよう、講座を開催しています。詳しくは26ページ、または市HPをご覧ください。



市HP▶認知症 検索



※認知症日常生活自立度Ⅱ以上の高齢者数(令和8年3月時点)